

企画財政課のしごと

目次

・市の基本方針	P 1 - 4
・財政状況	P 5 - 6
・まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	P 7 - 14
・ふるさと応援寄附金推進事業	P 15 - 29
・広報広聴	P 30 - 35

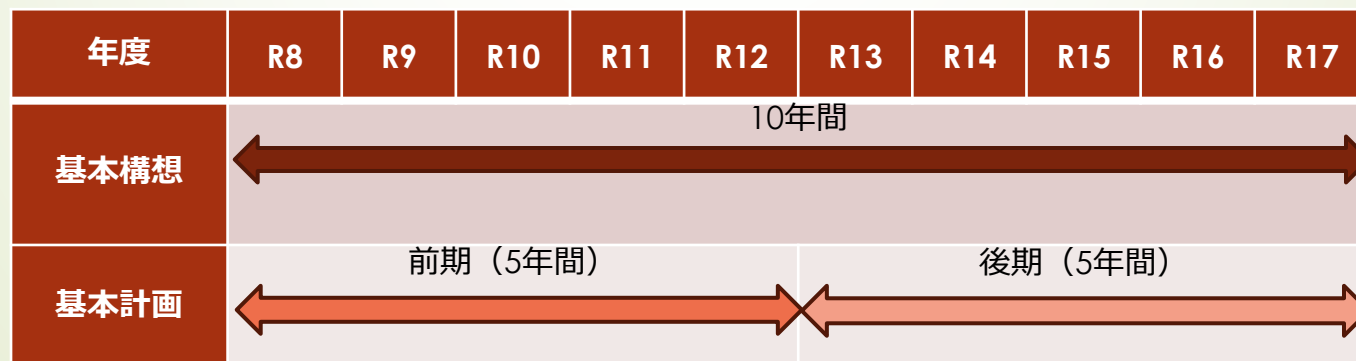
企画財政課

市の基本方針

企画財政課

市の基本方針

- 八幡平市では、令和7年度に「第3次八幡平市総合計画」を策定し、令和8年度から10年間の基本構想と、令和8年度から5年間の前期基本計画、令和13年度から5年間の後期基本計画を定めました。
- 基本構想では、まちづくりの理念や将来像と、それらを実現するための施策の大綱(基本目標)を示し、基本計画では、基本構想に示した基本目標に基づき、具体的な施策展開の方向と達成すべき施策目標(指標)を定めています。



■ 《 将来像 》

次世代に希望をつなぐ八幡平市

多様で豊かな自然環境、観光資源に恵まれた八幡平市。

この豊かで恵まれた資源を活かし、働く場の創出を図るとともに、市民一人ひとりが安全・安心に暮らすことのできるまちづくりに努め、これからも喜びや幸せを感じることができる、心豊かで心身ともにうるおいを感じるまちを目指します。

また、豊かで恵まれた資源をより一層活用し、生まれ育った人、今住んでいる人がこれからも住み続けたいと思えるまち、多くの人に八幡平市を訪れていただき、訪れる喜びを感じ、心のふるさと、第2のふるさととして将来にわたり八幡平市と関係を持ち、移り住んでみたいと思ってもらえるまちを目指します。

■ 《 施策の体系 》

1 魅力にあふれ、希望にもえるまちづくり

- 1 子ども・若者向けの支援の充実
- 2 移住定住対策の強化
- 3 地域コミュニティの活動支援

2 豊かな地域資源を生かしたまちづくり

- 1 新たな工業団地造成による企業誘致の促進
- 2 豊かな自然環境を活用した産業振興
- 3 観光振興と第一次産業の連携
- 4 交流人口・関係人口の更なる創出
- 5 商業の拠点づくり
- 6 豊かな自然（再生可能）エネルギーの積極的な活用
- 7 経済活性化と環境保全の両立

3 健やかで、うるおいに満ちたまちづくり

- 1 心身ともに健やかに暮らせる社会の推進
- 2 地域で支えあう福祉の推進
- 3 安心できる医療の充実

4 学ぶ喜びにあふれたまちづくり

- 1 地域に根ざした子どもの教育の充実
- 2 文化・芸術に取り組む環境づくり
- 3 スポーツ・生涯学習に取り組む環境づくり

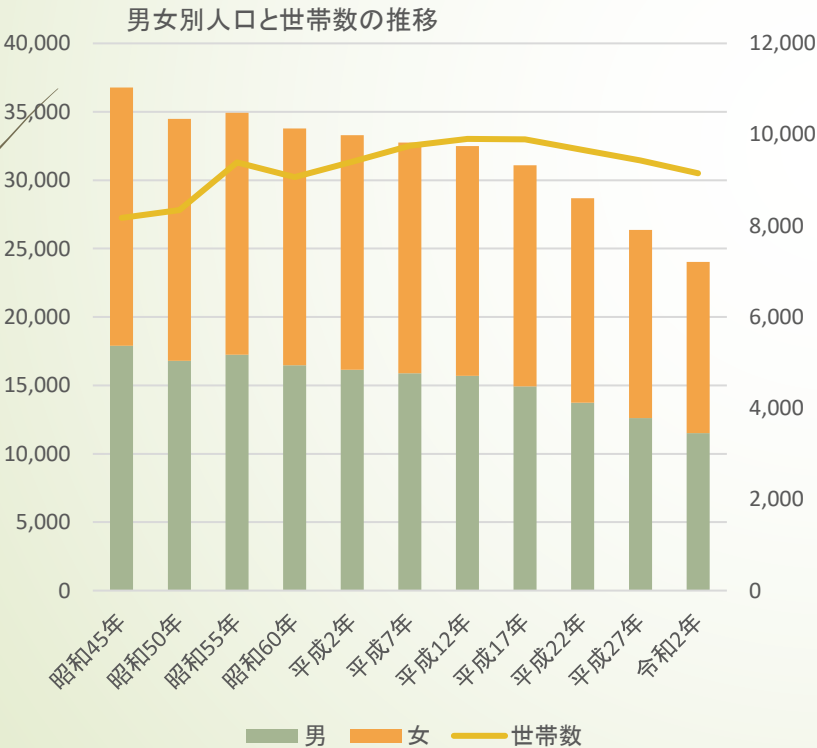
5 安心・安全で快適なまちづくり

- 1 社会基盤の維持・整備
- 2 持続可能な公共交通の確保
- 3 災害・事故・犯罪への対応、危機管理
- 4 自治体経営（行政サービスの向上）

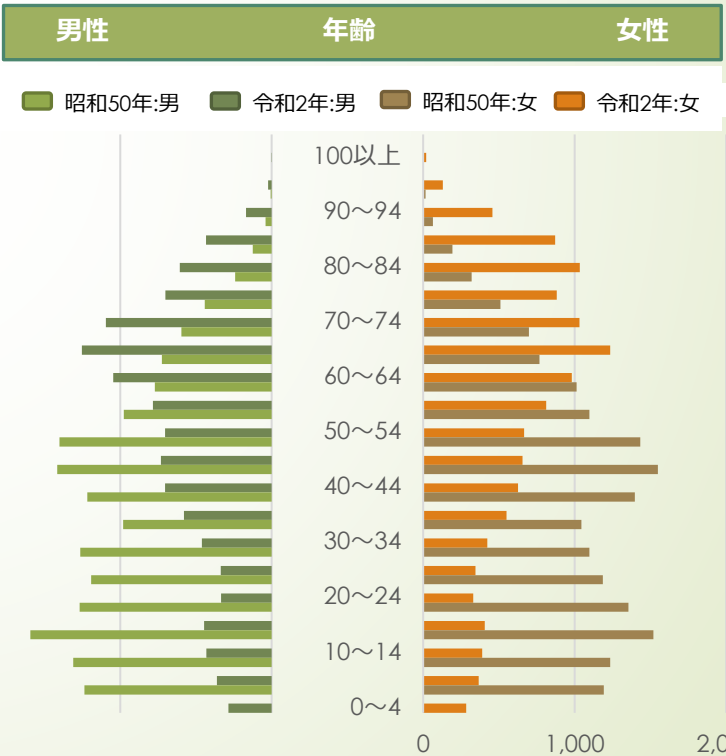
人口と世帯数の推移

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
男	17,983	16,798	17,240	16,470	16,138	15,889	15,706	14,934	13,725	12,621	11,509
女	18,871	17,693	17,686	17,300	17,149	16,862	16,779	16,145	14,955	13,734	12,514
計	36,764	34,491	34,926	33,770	33,287	32,751	32,485	31,079	28,680	26,355	24,023
世帯数	8,173	8,344	9,393	9,066	9,406	9,755	9,905	9,892	9,664	9,429	9,152

出典：国勢調査



5歳階級別男女別人口



財政狀況

企画財政課

財政状況

令和8年度の一般会計の総額は、189億4,900万円となりました。平成17年の合併以来3番目の規模となった前年度と比較すると、前年度対比21億5,200万円、率にして10.2パーセントの減となっています。また、企業会計を除く特別会計では、国民健康保険特別会計と後期高齢者医療特別会計の2会計で、前年度対比2,917万円、率にして0.9パーセント増の33億2,083万円となっています。

- ➡ 歳出は、これまで整備してきた公共施設等に係る地方債の償還金が減少傾向にあることや、令和6年度から着工してきた(仮称)大更駅前顔づくり施設の建設工事や施設開設に向けた備品整備費の減等により、8年度は減額となりました。
- ➡ 予算編成に当たっては、地熱発電の電力を活用した新たな産業団地の用地選定に向けた基本計画の策定、4年ぶりのいわて八幡平雪ゆめ国スポ大会の開催、松尾地区の3小学校統合に係る整備事業等を重点として編成しています。
- ➡ 西根・松尾地区中学校統合等の大型のハード整備を控えていることや、物価高を背景とした経常経費の増加が続くと予想されることから、より一層中長期的視点に立った予算編成に努める必要があります。

一般会計当初予算額の推移



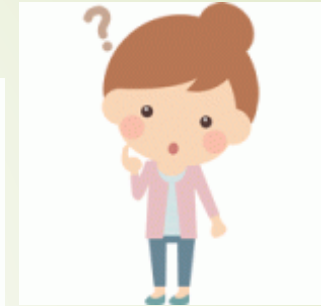
まち・ひと・しごと創生寄附 活用事業（企業版ふるさと納税）

企画財政課

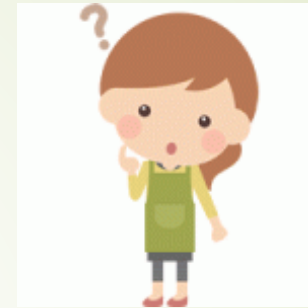
企業版ふるさと納税って何のための制度なの？

こころざしをカタチにする。

自社だけでは達成が難しい事業を、企業版ふるさと納税を通じて自治体の取組を支援することで目標の達成に寄与することができ、また、創業地や縁のある自治体が推進している事業を寄附を通じて応援することで、恩返しが可能となるものです。



企業版ふるさと納税の仕組みはどうなっているの？



企業版ふるさと納税は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる自治体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄附金額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附金額の最大6割）により、最大で寄附金額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。

寄附に当たっての留意事項！



- 1回当たり100千円以上の寄附が対象となります。
- 寄附の代償として、経済的な利益を受けることは禁止されています。
- 本社が所在する自治体への寄附については、対象外です。
- 地方交付税不交付団体への寄附については、対象外となる場合があります。

本市では、企業版ふるさと納税（人材派遣型）も募集しています。

※要相談

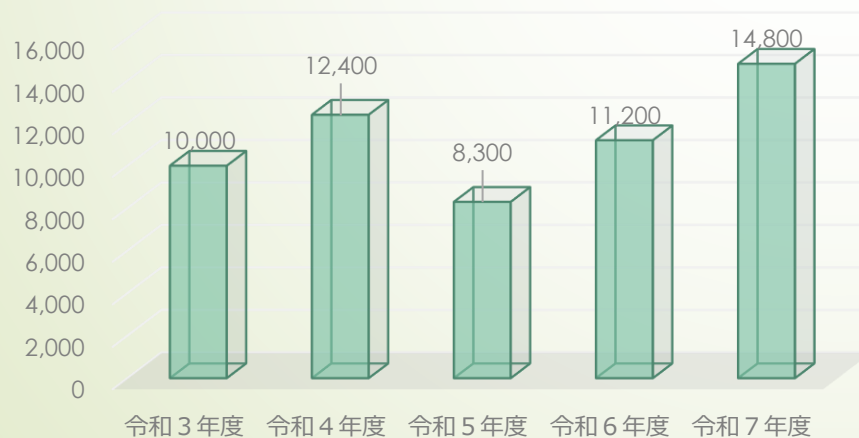
地域再生計画に位置付けられた市の応援したい事業を選んで寄附することができます。

寄附の使途は、次の事業から選ぶことができます。

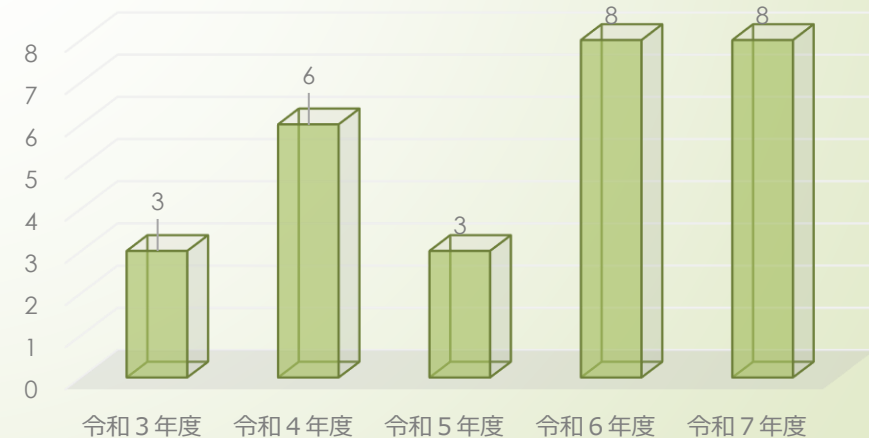
- 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造事業
- 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む事業
- 地域の元気を活かした持続可能なまちづくり事業
- 八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る事業

本市の企業版ふるさと納税は、令和3年度から受入れを開始し、現在（令和7年度）までの実績は、寄附金額56,700千円、寄附件数28件となっています。

寄附金額（千円）



寄附件数（件）



本市企業版ふるさと納税の一例を紹介します！



先ほど説明したとおり、本市の今までの企業版ふるさと納税寄附件数は、28件です。

次のページにて、一例をご紹介します。

本市企業版ふるさと納税の一例紹介

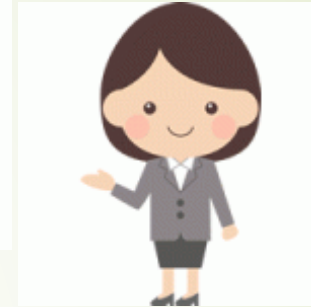
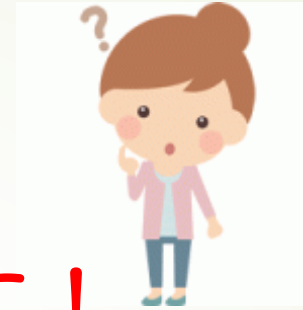
寄附年月日	企業名	寄附の用途
令和6年8月22日	(株)リードコナン	八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む事業
令和6年9月24日	(株)サンセイランディック	八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る事業
令和8年1月29日	三機商事(株)	地域の元気を活かした持続可能なまちづくり事業
令和8年1月29日	(株)O S F	八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造事業
令和8年3月18日	協栄テックス(株)	地域の元気を活かした持続可能なまちづくり事業

多数の寄附をいただき、ありがとうございました！
令和8年度も、引き続きPR活動を行っていきます。

ふるさと応援寄附金推進事業 (ふるさと納税)

企画財政課

ふるさと納税って何のための制度なの？



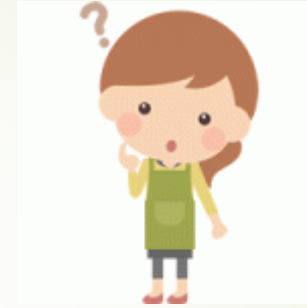
ふるさと納税で、日本を元気に！

多くの人々が、地方で生まれ育ち、進学や就職を機に都会に転出し、そちらの自治体で所得税、個人住民税を納税しています。

当然、自分が生まれ育った「ふるさと」の自治体には税金が入りません。

そこで、自分を育ててくれた「ふるさと」に、自分の意思で納税できる制度があっても良いのではないかという問題提起から始まり、数多くの議論や検討を経てふるさと納税制度が誕生しました。

ふるさと納税の仕組みはどうなっているの？



ふるさと納税は、自治体への「寄附」です。

自治体に対してふるさと納税（寄附）をすると、納税（寄附）金額のうち、2,000円を超える部分について、一定の上限まで、所得税、個人住民税から全額が控除されます。

控除を受けるためには、ふるさと納税をした翌年の確定申告が必要です。

ただし、ふるさと納税先が5自治体以内の場合に限り、納税先自治体に申請することにより、確定申告不要で控除を受けられる手続の特例があります。

※ふるさと納税ワンストップ特例制度

税の控除以外にもメリットがあります！



寄附金額に応じた地場産品を、返礼品として受け取ることができます。
例えば、10,000円の寄附の場合には、3,000円以下の地場産品から返礼品
を選ぶことができます。
※地方税法（返礼割合3割以下基準）



市の応援したい事業を選んで寄附することができます。
寄附は、寄附者の意向に沿った事業の財源に充てることになっています。

寄附の用途は、次から選ぶことができます。

- ・自然環境の保全又は活用
- ・産業の振興
- ・人材育成
- ・福祉の充実
- ・その他（寄附者が指定する事業、市長が必要と認める事業）

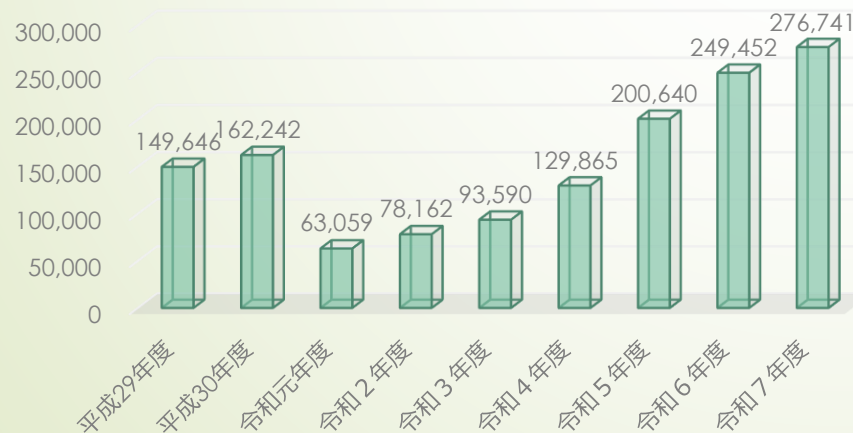
※ふるさと応援基金条例



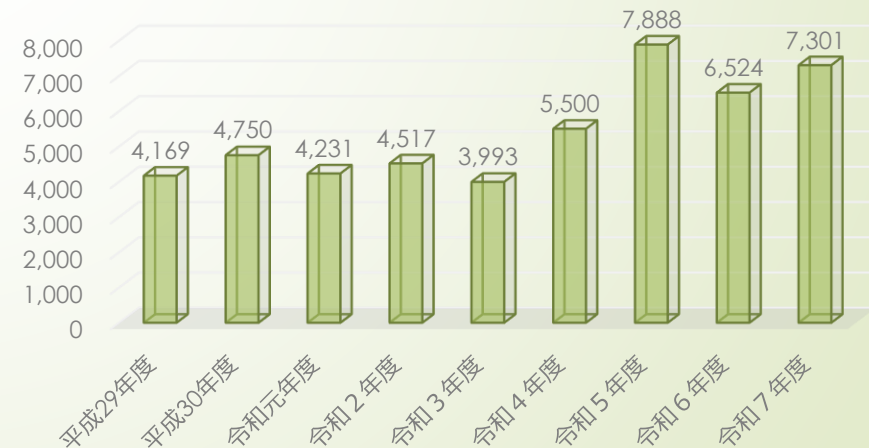
本市のふるさと納税は、平成29年度から返礼品の取扱いを開始し、翌30年度には、162,242千円の寄附をいただいています。

令和7年度については、寄附金額が276,741千円、寄附件数が7,301件であり、金額は過去最高となっています。

寄附金額（千円）



寄附件数（件）



本市ふるさと納税の返礼品の一部を紹介します！



先ほど説明したとおり、本市の令和7年度のふるさと納税寄附件数は、7,301件でした。

その中でも人気の寄附件数上位3品を紹介します。
それでは、第3位です。



206件発送した！

(株)昭和食品東北工場さんの
『焼き鳥5種 30本セット』

&

(企)八幡平地熱活用プロジェクト
ジオファーム八幡平さんの
『八幡平マッシュルーム1kg』

それでは、第2位です。



496件発送した！

安比高原スキー場（運営：(株)岩手ホテルアンドリゾート）さんの
『安比高原スキー場BLUE PASS1日券』です!!

それでは、第1位の発表です。



656件発送した！

(株)昭和食品東北工場さんの

『焼き鳥5種 50本セット』です!!

先ほど説明したとおり、本市の令和7年度のふるさと納税寄附金額は、276,741千円でした。

その中でも人気の寄附金額上位3品を紹介します。
それでは、第3位です。



15,872千円の寄附を集めた！

安比高原スキー場（運営：(株)岩手ホテルアンドリゾート）さんの
『安比高原スキー場BLUE PASS1日券』です!!

それでは、第2位です。



16,464千円の寄附を集めた！
(株)リーガルコーポレーションさんの
『革靴 紳士ビジネスシューズ
ストレートチップ ブラック 25AR』 です!!

それでは、第1位の発表です。



21,420 千円の寄附を集めた！

(株)岩手ホテルアンドリゾートさんの

『ANAインターコンチネンタル安比高原リゾート

宿泊補助券（50000円相当）』です!!

多数の寄附をいただきありがとうございました！

令和8年度も、多彩な返礼品を用意して
目標寄附金額370,000千円を目指し、
日々PR活動を行っていきます。
応援よろしくお願いしますm(_ _)m



広報広聴

企画財政課

○広報の発行

広報は毎月第2木曜日の発行を基本とし、行政連絡員をとおして各戸に配布されます。



- ・ ページ校正
- 表紙
- フリーページ
- 福祉NETWORK
- 市役所からのHOT LINE
- 暮らしの情報カレンダー
- お知らせ インフォメーション
- よろこび/おくやみ
- 平高通信
- 博物館・松尾鉱山資料館だより/図書館だより
- ここ見に来て/八幡平キッチン
- 環境衛生・防災安全
- ハチ推し
- 話題ピックアップ
- キラリ輝人

全24ページ



○ホームページ、SNSを活用した情報発信

移住定住や子育て支援策などサブページを活用し、見ていただける、検索しやすいホームページを目指します。

令和4年度から開始したLINEによる情報発信は、現在フォロワー数が6,400人を超える状況にあります。令和7年5月からは利便性の向上を目的に、自身に必要な情報のみを受信できるように受信設定機能を追加しました。また、令和6年度から新たなSNS（Instagram）による情報発信を行い、情報発信力の強化に取り組んでいます。

○広聴

広く市民の声を聴き市政に反映させるため、市では以下の方法により個別広聴事業を実施しています。

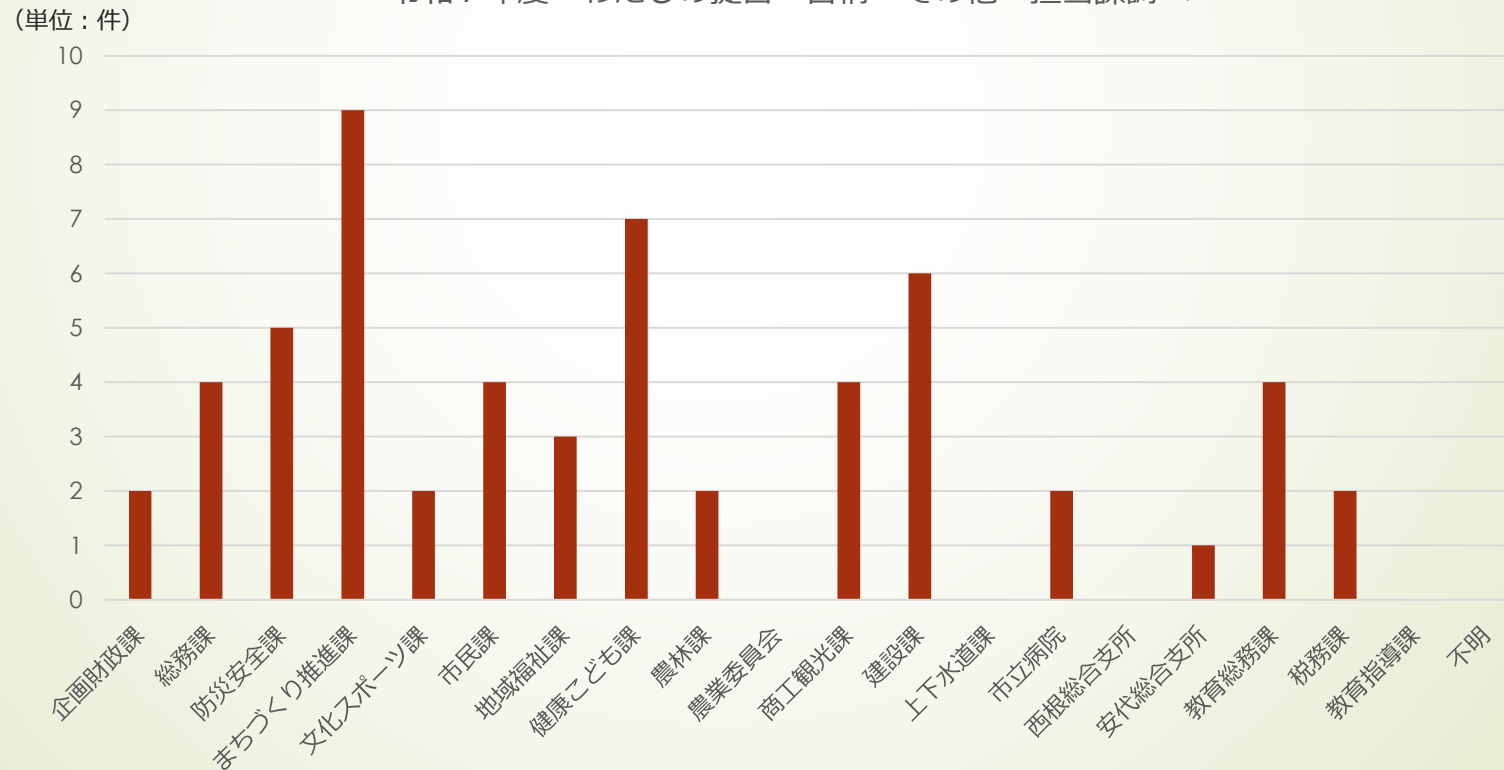
- ・「わたしの提言」・・・既定の用紙に意見を書き、郵送又はメール等により受け付けます。
- ・フリートーク・・・各種団体、サークルなどでテーマを決めずに市長と対話したい場合に受け付けます。
- ・テーマトーク・・・市がテーマを決め、テーマに沿った意見交換を行います。
- ・市政モニター・・・市が市民の中からランダムにピックアップした方に、モニターとして年数回、アンケート調査に協力していただきました。

「わたしの提言」の概要

令和7年度は36件の提言が寄せられ、そのうち19件に回答をしています。
市民サービスの向上に関する事など、寄せられた提言に対しては、提言いただいた本人へ回答するほか、その要旨を市役所本庁舎入口の掲示板で公開しています。
※公開の意思を確認できたものに限り公開しています。

※1件の提言に複数課にまたがる提言がある場合には、対応した課の数でカウントしています。

令和7年度 わたしの提言・苦情・その他 担当課調べ



フリートーク・テーマトークの概要

○ フリートーク

市長と直接語り合い、交流を深めることで、協働によるまちづくりの主役である市民の生の声を市政の推進に生かし、市民と協働した住みよい地域づくりを目指すことを目的に対話方式の広聴として受け付けています。

◇令和7年度の主な開催内容

- ・子育て環境について（市PTA連合会）
- ・市社会福祉協議会

○ テーマトーク

市が提案する特定の政策課題や個別の政策展望などに対する意見交換に特化して実施するものとします。ただし、市が提案するテーマは、具体化されていない政策や、方向が定まっていない課題等を基本とし実施します。

※決定事項に対する説明会や専門特化したもの及びパブリックコメントを求めるようなものなどは対象外とする。

◇令和7年度の主な開催内容

- ・市総合計画策定について（9ヶ所）

令和7年度の市政モニターアンケート

第1回アンケート

○多文化共生について
(全10問、市政モニター回答者数50人)